タイトル「2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)」、フォルダ「（共通）」
シラバスの詳細は以下となります。

戻　る

科目ナンバー	RMGT/SSCS1702		
科目名	英語Ⅱ		
担当教員	加納　奈保子		
対象学年	1年	時間学期	前期
曜日・時限	水１		
講義室	1403	単位区分	必,選必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	7 語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 ＤＰ１－Ｄ （市民的素養・市民的教養） 市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために，知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 ＤＰ２－Ａ （日本の精神文化を理解し多様な価値観を受容する姿勢） 地域的視点で物事を多面的に捉え，異文化との交流の重要性を認識するとともに，異文化との交流の機会に積極的かつ多面的に行い，相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 ＤＰ４－Ｉ （理解力・分析力） 文書表現，数値データを適切に扱いつつ，情報の収集と取捨選択，分析と加工を有効かつ円滑に行い，課題の解決につなげることができる。 ＤＰ６－Ｋ （表現力・対話力） 文意及び口頭で，自らの考えを的確に表現し，他者に過不足なく伝達することができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＰ）との関連 Ｄ１ 市民的素養と参加（１０％） Ａ１ グローバル感覚 （５％） Ａ２ 異文化適応 （５％） Ｉ１ 理解・分析と読解 （２０％） Ｋ１ ライティング・コミュニケーション（３０％） Ｋ２ オーラル・コミュニケーション（３０％）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 シラバスによって，目標となるステージが異なります。 3 発展期～4 定着期 2 進行期～3 発展期 1 積理期～2 進行期		
科目概要・キーワード	英語の基礎学力に開連したコミュニケーションスキルの養成を目的とします。発話に必要な個々の発音や発話のメカニズムについて学びながら，アクティビティ・グループワークを通して，実際の現場に沿った英語に触れます。授業は習熟度別クラス編成により演習形式で実施します。なお，授業を補完するものとして，必要に応じて e-learning を使用します。 （キーワード） スピーキング・リスニング・英語コミュニケーション		
授業の趣旨	■課題 Conversation, expressions and pronunciation ■授業の目的 ・経験（読む・書く・聞く・話す）を使ったアクティビティーを通して，高校まで に学んだ語彙・文法を復習し定着させるとともに，英語を実際に使用しながら，英語に対する低抗感や苦手意識を感じずに，コミュニケーションツールとして運用する力(英語運用力)を身につけることを目的とします。また自分の意見を簡潔に述べる練習および発表の機会を設け，次年度の学習に繋げます。 Through a variety of activities (reading, writing, listening, and speaking), students will review the vocabulary and grammar learned during secondary education and use them in communicative activities. The students will be encouraged to overcome any shyness they feel by using English in a friendly and supportive classroom environment. They will also practice expressing their thoughts and ideas in a concise but relevant manner. By the end of the course, students will develop proficiency in using practical English in everyday situations. This general English proficiency will be the basis for the future development of English academic skills. ■授業のポイント より読みや英会話表現の習得を目標とし，学生の興味なテーマを選択したトピックを用いた授業を行います。 For more natural English conversations, the instructors will conduct classes using topics that students can relate to.		
総合到達目標	■ 一般目標 (GIO) 大学教育において英語でコミュニケーションをとるために，情報を関連取る様々な方法を実践し，コミュニケーションツールとして基礎的英語を運用する力（特に聞いて理解する力）を修得する。 For communicative English in the university level, students must improve their conversation skills, usage of expressions, and pronunciation. In class, the students will practice using a variety of techniques to cover those skills. ■ 個別行動目標 (SBOs) 1.日常会話で頻出する基礎的な英単語、英語表現の意味が理解できる (第1-11回) 2.英語の基礎的な発音やイントネーションの時間を関連取ることができる。 (第1-15回) 3.基本品詞・時制を適切に使用することができる。(第1-11回) 4.基本的な文型を適切に作ることができる。(第1-11回) 5.基本的な平叙文、疑問文、疑問文を適切に作ることができる。 (第1-11回) 6.特定のトピックに対し自分の意見をまとめ、５センテンス以上の英文を作成できる。(第12回) 7.作成した英文を元に、自ら発表することができる。(第12回) 8.TOEIC Bridgeの出題傾向・構成・各パートの特徴を理解し、各パートで求められる技術を認識する。(第14回、15回) 9.TOEIC Bridgeの問題に取り組み、公式試験と同様の形式・制限時間に慣れる。(第14回、15回) 10.復習として、授業で取り上げた英文・会話文・表現を読み直し、辞書や参考書等で単語の意味や文法を詳細に調べることができる。 (第1-15回) 1. Understand the meaning of basic English words and expressions that frequently appear in daily conversation (Lesson 1-11) 2. Be able to listen to and practice basic pronunciation and intonation at word and sentence levels. (Lesson 1-15) 3. Be able to use basic parts of speech and tenses accurately. (Lesson 1-11) 4. Be able to create proper basic sentence patterns. (Lesson 1-11) 5. Be able to properly make basic declarative sentences, negative sentences, and interrogative sentences. (Lesson 1-11) 6. Summarize one's own opinions on specific topics and write them in 5 sentences or more. (Lesson 12) 7. Present one's own opinions based on written English sentences created in class. (Lesson 12) 8. Understand the questioning tendency, composition, and characteristics of each part of the TOEIC Bridge, and recognize the skills required for each part. (Lesson 14, 15) 9. Work on the TOEIC Bridge questions and get used to the format and time limit as that of the official test. (Lesson 14, 15) 10. Review reading materials, conversational sentences, and expressions taken up in the class, and look up the meaning and usage of words in detail in dictionaries and reference books. (Lesson 1-15)		
成績評価方法	（通常ルーブリック） D1: １０％、A1: ５％、A2: ５％、I1: ２０％、K1: ３０％、K2: ３０％ （成績評価手順） ■授業内テスト （Written test / Media report）（２０％） （評価の観点）期限内に提出を行ったか，文法・単語・表現について理解しているか，トピックに対して適切な内容を表現しているか，指定されたフォーマットに沿った作成方法および提出となったか。 （フィードバック方法）授業内で講評を行い。 ■授業参画度 （Class Interaction,Participation）（３０％） （評価の観点）協力的かつ積極的にアクティビティに参加しているか，日本語に頼らず英語のみで授業に参加しようとしているか，講師の指示に従っているか。 （フィードバック方法）授業内でまたに講師に適宜フィードバックを行います。 ■授業時間外課題 （Homework）（３０％） （評価の観点）各ユニットに設定されているオンラインまたはモバイルアプリより提出を行い、達成度合いを図ります。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行い、必要に応じてプリントを配布します。 ■TOEIC Bridge L&R（２０％） （評価の観点）前期は模擬試験（授業内テスト）、後期は公式試験の受験とし、スコアを評価します。 （フィードバック方法）模擬試験の場合は授業時間内に採点を行いスコアを算出します。		
履修条件	英語Ⅰを同時に履修すること。 Students must take English I alongside this course.		
履修上の注意点	1. レッスントピックやマテリアルはクラスのレベルと授業の進度により変更になる場合があります。詳細は授業内でお知らせします。 Lesson topics and material may change depending on the class level and progress made in the lesson. Those changes and more detailed information will be announced in class. 2. オンライン・ポータルを使用し復習および課題を行うにはアクティベーションコードが必要です。必ずアクティベーションコード付きのテキストを購入してください。また、授業はテキストのUnitに沿った内容で行いますので、毎回の授業に必ず持参してください。 An activation code is required when accessing the online portal intended for review and additional tasks at the end of each unit. Students must have a textbook with an activation code in it. The lesson goes according to the textbook. Students must have it with them all the time. 3. 授業中のスマートフォンの使用は単語や英語表現を調べることに限り可とします。ただし明らかに授業と関係のないサイトを閲覧、メッセージのやり取りを行うなど授業の態度を欠ける行為については厳重注意を行い、減点評価とします。これはパソコンの使用についても同じです。 Students are allowed to use a mobile phone to search English words and expressions to catch up with the lessons; however, if instructors find that students are browsing unrelated websites, exchanging messages, or doing any other activity which disturbs their classmates' study, students could get a warning or even get a lower assessment score. The same guideline applies to laptops. 4. 復習、課題は必ず期限内に実施すること。 Students must complete homework and assignment by their deadline. 5. 授業を欠席あるいは遅刻をした場合、復習・課題等の補習は自分自身で責任を持って行うこと。欠席、遅刻は復習・課題を完了できなかった理由にはなりません。 If students are absent or late, it becomes their responsibility to confirm homework assignments or other material covered in the missed class. Being absent or late is no excuse for incomplete work. 6. 授業は学生主体で行われるため、問題いを恐れずに積極的に参加すること。 In this course, most exercises will involve the four core language skills: reading, writing, speaking, and listening. A variety of interactive activities will be employed as well. Students must actively participate in each activity and cooperate with each other to complete the exercises.		
授業内容			
関連科目	英語Ⅰ(RMGT/SSCS 1701)、英語Ⅲ(RMGT/SSCS 1703)、英語Ⅳ(RMGT/SSCS 1704)		
教科書	Ken Beatty, StartUp. Pearson. 2019. Student Book with Mobile App & MyEnglishLab ISBN 978-0-1351-78461 (Level 1), ISBN 978-0-1351-78430 (Level 4)		
参考書・参考ＵＲＬ			
連絡先・オフィスアワー	質問には、授業前後の時間で対応します。それ以外の時間帯は教員室へ来ることも可能です。 If you have any questions, you may talk to your instructor before or after the lesson. Also, you are welcome to visit the instructor's office.		
研究比率			

戻　る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.